

令和４年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	17200000	健康こども こども未来		
大事業	61	6つのまちづくり宣言	—	款項目	03	民生費	02	児童福祉費		03	児童保育費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	K P I	-				目標値	-	
中事業	04	主要な取り組み	—								
小事業	35	私立保育園運営費等補助事業			目標年度	令和6年度					

イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	未満児の保育需要は増加している。保護者が安心して子どもを預けることができるように待機児童0人を維持する必要がある。私立保育園が経営難に陥ると待機児童が発生する恐れがある。私立保育園の供給量（入園枠）を確保することで、保育に欠ける児童を預かる体制の整備が求められている。					
	事業目的	（１）対象（誰、何を対象にしていますか） 民間保育所5園、認定こども園3園、地域型保育事業（事業所内保育事業、小規模保育事業）、幼児教育・保育の無償化の対象となった認可外保育施設・預かり保育事業利用者 （２）目的（事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか） 運営費負担金、補助金、給付費を交付することにより、保育園等の円滑な運営及び経営の安定化、保護者の負担軽減を図ることにより、公立私立たがわぬ保育環境運営を確保し、安心して子どもを預けられるようにする。					
	事業概要	家庭での保育に欠ける児童を民間保育園、民間認定こども園、地域型保育事業にて保育を委託するための運営委託費及び補助金。 幼児教育・保育の無償化により対象となった認可外保育施設・預かり保育利用者への保育料の施設利用給付。 国県制度だけでは、私立保育園等の経営が安定しないため、市単独補助金（食物アレルギー対応給食提供事業、障がい児保育対策事業、措置対策事業）により、安心して子どもを預けられるように支援する					
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06	
	予算額	1,404,499	1,667,339	1,384,236	1,260,240		
	決算額	1,238,067	1,608,215	1,295,919			
	年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）	2,619 / 1,166					

アウト プ ット	活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	待機児童数の減少 （各年度1月末現在）	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0		

アウト カ ム	K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	各年度の出生数 （CaminhoのKPI：500人を維持）	目標値	500	500	500		
		実績値	470	450	407		



実 績	実績	市単補助 食物アレルギー 7園7,560千円、障がい児保育 5園7,156千円、措置対策 9園48,430千円
	効果	蜂屋保育園を民営化し蜂友学舎保育園となったこと、たから幼稚園が認定こども園となったことで、未満児の保育需要の増加に対し供給を確保することができた。結果、待機児童0人を継続して達成することができた。各種市単独補助金を活用することで、障がいがある児童に、加配保育士をつけることができ、園も安心して児童を受け入れることができ、結果待機児童0人へつながった。



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	私立保育園等を整備することで引き続き待機児童0人を継続することができた。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	私立保育園での保育需要に対し、適宜必要な補助を追加し、不要な補助については廃止をすることで、限られた財源を効果的に活用していく。 当事業の成果をより適切に測る指標としてR5年度からKPIを「私立保育園利用児童数」に変更する。
	実績からR05年度の 事業の方向性	令和5年度から保育園等からの要望により、国の補助制度に基づき補助金を導入した。効果を検証し、適宜不要な補助や効果の低い補助について見直しを行う。